

感染疑い発生時の対応マニュアル

- 1 主催者等による入場時の体調確認（スクリーニング等）で体調不良者が発生した場合の対応
主催者にて、「風邪の症状、37.5度以上の発熱、倦怠感、息苦しさなど」の症状の有無を入口等で確認する。

⇒該当する方は、主催者にて入場をお断りし、帰宅を促すとともに、下記連絡先を伝える。併せて、主催者が（公財）北九州観光コンベンション協会（以下協会という）へ報告する。

（北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル：0570-093-567）

⇒帰宅困難な症状の場合は、主催者が協会に連絡するとともに、主催者の同行のもと、協会の指定する救護室へ移動させる。

- 2 催事中に体調不良者が発生した場合の対応

催事中に体調不良者が発生し、「風邪の症状、37.5度以上の発熱、倦怠感、息苦しさなど」の症状を主催者が確認した場合、主催者は協会に連絡するとともに、主催者の同行のもと、協会の指定する救護室へ移動させる。

【協会の指定する救護室】

- ・新館C展示場・救護室
- ・本館・中展示場・第三主催者室
- ・北九州国際会議場・控室

【協会救護室での対応】

救護室にて、協会立ち会いのもと主催者とともに患者の健康状態を確認する。

その結果をもとに、主催者が北九州市新型コロナウイルス相談窓口等に連絡し、受け入れ病院の確認や救急車の要請等を行い、協会がそれに協力する。

患者が搬送された後は、主催者が北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル（0570-093-567）、北九州市保健予防課（522-8711）等に消毒等の対応を確認し、協会とともに適切な処置を行う。

【協会の備品】

- ・マスク
- ・廃棄用ビニール袋
- ・使い捨て手袋
- ・サーマルカメラ
- ・非接触体温計

【適切な処置の範囲】

場所	主催者	協会	備考
占用貸出部	○		
共用部		○	共用部分の造作物は主催者で実施

- 3 催事後にコロナ罹患者が発生した場合の対応

催事後に、催事関係者・来場者等がコロナに感染した場合には、速やかに主催者より、コロナ罹患者の来場日時等、詳細情報を協会に報告する。

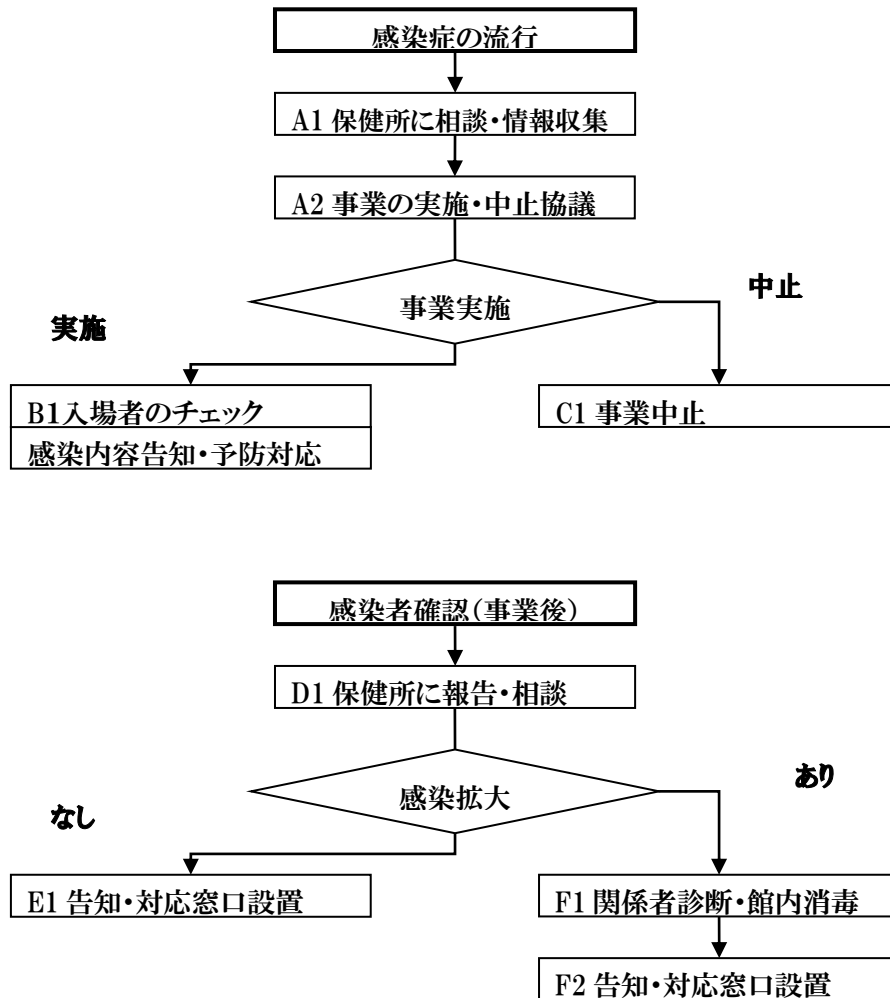
協会より北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル（0570-093-567）、北九州市保健予防課（522-8711）等に連絡し、消毒等の対応を確認後適切な処置を行う。

公表方法等を含めたその後の対応について主催者と協会にて協議する。

【参考】

※施設運営危機マニュアルより抜粋

感染症(ウイルス、細菌による感染で1～5類・新型インフルに分類される101疾患)
対策フロー



A 感染症が流行している

【A1】 感染疾患の内容、留意点など相談する。

北九州市保健所 522-5311 小倉北区馬借 1-7-1 総合保健福祉センター内
(夜間休日急患センター:522-9999 住所同上)

【A2】 保健所との相談内容を踏まえ、関係者と事業を実施/中止を協議する。

サービス課 541-5931・管理室 541-8850・防災センター 513-1480

B 事業実施の場合

【B1】 感染疾患の流行状況の告知や予防措置を講じつつ、必要に応じて来場者をチェック(気分が悪い・発熱等の申し出を促す)する。

C 事業を中止する場合

【C1】 事業中止の広報を行う。

D 後日、感染者が関係者・来場者にいたことが判明

【D1】 二次感染の可能性等を保健所に相談する。

(潜伏期間があり、ある程度の時間経過により発症することに留意)

E 感染拡大がない場合

【E1】 問合せのための窓口(担当者)を開設し、電話・訪問相談を受ける。

・想定問答(FAQ)を作成し、同じスタンスで誤解の無いよう回答する。

・相談受付シートを作成し、必ず個別に内容を記録する。

F 感染拡大の疑いがある場合

【F1】 職員、関係者濃厚接触者の受診、館内の消毒を行う。

【F2】 問合せのための窓口(担当者)を開設し、電話・訪問相談を受ける。

・感染拡大に関する告知を行う。

・濃厚接触が判明すれば潜伏期間を考慮して受診を勧める。

・想定問答(FAQ)を作成し、同じスタンスで誤解の無いよう回答する。

・相談受付シートを作成し、必ず個別に内容を記録する。

発熱&悪寒のある方

・必ずマスクを着用し、なるべく人ごみは避け、早く医療機関で受診する。

北九州市新型コロナウイルス相談

電話番号:0570-093-567(ナビダイヤル)

参考:最寄の内科医院(土日開院)

ふじひら内科医院

北九州市小倉北区浅野1-1-1 JR小倉駅アミュプラザ西館7階

093-512-1102